



ラオスの伝統文化を守り・伝える 新しいツアーガイドング手法の普及

- 実施団体：
一般社団法人エコロジック
- 対象国・地域：
ラオス国 ルアンパバーン県
- 現地カウンターパート
ルアンパバーン県観光局



- 協力内容：
 インタープリテーション（ツアーガイドングの手法）に関する現地
 トレーナーの養成、質の高い公認観光ガイド養成のための仕組み作り、
 教材等の作成。

- 団体のこれまでの取り組み：
 地域の環境問題や様々な地域課題の解決を目指し、日本を含む世界各
 国でエコツーリズムを推進・開発支援することを活動方針としている。
 住民自らが、地域の自然、伝統、文化を「インタープリテーション」と
 いう解説技術を用いて観光客に効果的に紹介できるよう育成することを
 専門とし、世界各国でインタープリテーション手法を用いたエコツーリ
 ズム研修を行っている。

- 事業実施の背景：
 ラオスの世界遺産都市であるルアンパバーン県における観光客数は年
 々増加している。ラオス政府は中心地に集中した観光客を地方に分散さ
 せ、環境や伝統文化に負荷を与えない観光開発“Green Destination”
 を掲げ、県内のエコツーリズムやアグロツーリズムを推進しているもの
 の、そのために必要な観光客に対して適切にガイドできる人材が十分育
 っていない。

ラオス国の課題と成果

課題 公認ガイドに対して質の高いガイド技術指導が提供されて
 いないため、観光客に世界遺産の価値を十分に伝えるこ
 とができておらず、伝統や文化の保護に対する公認ガイ
 ドの意識の低下、急増する観光客に対するマネジメント
 能力不足、環境への悪影響による伝統や文化の魅力喪失
 等が懸念されている。

成果① ルアンパバーンにおいて地域の自然、伝統、文化の価値を
 伝えるコミュニケーション手法（インタープリテーシ
 ョン）を習得した観光ガイド養成のための仕組みを構築。

成果② 行政による既存の観光ガイドトレーニングにインタープリ
 テーションプログラムと教材を追加し、本事業を通して
 インタープリテーションを習得した現地トレーナーが本
 手法を広めることで、持続可能な観光開発に寄与。

事業の波及効果



質の高い公認観光ガイドの養成を通じた 持続可能な観光への貢献

- ・養成したインタープリテーショントレーナーは、ガイドを対象に
 インタープリテーション研修を実施し、ルアンパバーン県で活動
 する計65名のガイドが受講し、受講者の84.6%である55名のガイ
 ドの技術向上が確認された。
- ・インタープリテーションプログラムを追加した行政による既存の
 観光ガイドトレーニングは、養成したインタープリテーシ
 ョントレーナーが講師を務め、今後も継続的な実施が確約されている。
 トレーニングを継続的に実施することはインタープリテーシ
 ョン手法を習得したガイドの人数が増加することを意味し、同時にそ
 の重要性が継承されていくことが期待される。